

## はじめに 今年度第一回目のミニセミナーを行いました！

今年度第1回目のミニセミナーは、平成22年度にURC内で調査研究を行い、とりまとめをおこなった報告書「花のまちづくり“福岡”」についての内容レビューです。

花が持つ「演出効果」により、美しく演出された都市の事例を参照として、福岡市への導入場所や花苗供給・水遣りなどの維持管理を行う運営スキームを提案し、花を活かしたまちづくりの実現のための提言を、花のまちづくり研究会のメンバー3名で報告しました。



発表者の藤原正教さんは平成21年度の市民研究員として、「人と自然が共生する美しい都市」の研究に携われ、「花が美しい都市FUKUOKAを目指せ～ツールとしての「花」の活用方策に関する研究～」をまとめられました。この研究成果は、今年3月九州新幹線全線開通時に行われた「花しるべ」というイベントとなって生かされました。市民研究員の活動が終わっても、花の研究は続けられ、今回の研究に参加されることになりました。

久保山安利さんは、長年福岡市の農林水産局に勤務され、主に福岡市内の花卉農家の指導にたずさわってこられました。元部下の田梅さんを通じて藤原さんの研究成果を知り、非常に感激され、昨年度「花の研究」をテーマに短期研究員に応募されました。

田梅朋子さんは、平成21年度、福岡市から当研究所へ出向された研究主査で、久保山さんを推薦するとともに、研究会の一員に加わりました。

ミニセミナーの発表資料は、当研究所の資料として受け入れし、利用に供しております。研究成果をビジュアルにわかりやすく解説した資料として、ご活用くださいましたら幸いです。

お忙しい中、都市政策資料室主催のミニセミナーにたくさん御参加いただきまして、誠にありがとうございます。2006年12月からはじめ18回目を迎えた今回は、おなじみの方に加え、初めてのお客様を多くお迎えできたことを、大変嬉しく思っています。これからも、資料室のミニセミナーならではの情報を皆様にお届けできるよう努めてまいります。

## 今月のおすすめ

### ニッポン前へ 提言論文 最優秀賞「東日本復興計画私案」

佐藤俊郎氏著 福岡・環境デザイナー 2011年8月1日 朝日新聞朝刊18p

2011年8月1日 朝日新聞朝刊 17～20p 「ニッポン前へ」提言論文特集から

朝日新聞社が東日本大震災からの復興と、その先の再設計を論じる「ニッポン前へ委員会」をつくったのを契機に募集した提言論文に、当研究所の賛助会員である福岡の環境デザイン機構代表取締役佐藤俊郎さんの論文が最優秀賞を受賞されました。佐藤さん、おめでとうございます。

朝日新聞、8月1日朝刊、18面全面には佐藤俊郎さんの論文が全文掲載されています。以下、論文の段落ごとの見出しをご紹介します。

### 別の豊かさ 紡ぎ出そう これまで誰も手がけたことが無い、「計画」を超える「計画」

なぜ「震災」ではなく「戦災」か

社会がつくる災害

もし、震災が起こらなかつたら……

「想定外」とは

情景1 2021年 犠牲者を地球へ還す 2011年 創造と破壊の計画

情景2 2021年 この地上一人では生きられない 2011年 結ぶ計画

情景3 2021年 「モノ」「カネ」よりも「ヒト」 2011年 生き甲斐の計画

情景4 2021年 新しい主役は誰か 2011年 復興計画は可能か

17pには、「URC資料室だより 6月号」のこの欄に掲載した「コミュニティを問いなおす」の著者、広井良典・千葉大学教授の講評「めざすべき日本社会を描く」も掲載されています。19pの特別賞を受賞した甲府市の中学生松村知さんの「論文では、ないけれど一小さなことから、こつこつと 大人だけが主役じゃない」もおすすめます。

### 当研究所の研究報告書「博多港寄港クルーズ船中国人乗降客観光動向調査」

概要版ができました！

日本語版に加え、英語版、韓国語版も発行しましたので、是非ご利用ください。

\* ご希望の資料がございましたら ご連絡下さい。TEL:092-733-5707 FAX:092-733-5680 E-mail:library@urc.or.jp  
その他の資料につきましては当研究所ホームページ内 (<http://www.urc.or.jp/>) の蔵書検索をご利用下さい。

\* 利用案内/場所：福岡市役所北別館 6F 開室：月曜日～金曜日 10:00～17:00\*月末業務日はお休みです。  
貸出：1人5冊まで 2週間以内(貸出には身分証明書が必要です。) **9月30日金曜日は休室です。**

\*福岡市役所1階の情報プラザで本が返せます。専用の返却ポストに入れてください。平日はもちろん、土・日・祝日も朝9時から夜8時までOK！